

# 生成AI・DX人材育成のご提案

人が変われば組織も変わる！全社員が変革を担う組織づくりを支援

## 生成AI・DX推進、“掛け声(指示)”だけで終わっていませんか？

「DXを進めよう！」「生成AIを導入したので活用しよう！」と号令をかけても、現場が動かない——。多くの企業が、同じ課題に直面しています。

### ■ 経営層の理解が浅く、方針が曖昧

DXが“IT化”にとどまり、全社方針に落ちていない。

デジタルの方針を決める

経営層が推進の先頭に立つ！

### ■ 管理職が自部門に落とし込めない

「うちの業務には関係ない」と受け止められてしまう。

マネジメント教育

管理職が組織改革をリードする！

### ■ 現場社員のリテラシー格差

デジタル活用に苦手意識が強く、行動が続かない。

AIやツールを触ってみる

できた／できそうという感覚を持つ！

### ■ プロジェクトが属人化・形骸化

一部の熱意ある担当者に頼り、組織全体に波及しない。

リスキングでプロマネ増員

プロジェクトの推進力を強化する！

### ■ 成果が見えず、モチベーション低下

成果が見えず「DX＝成果が出ない」と誤解される。

専門家が伴走支援

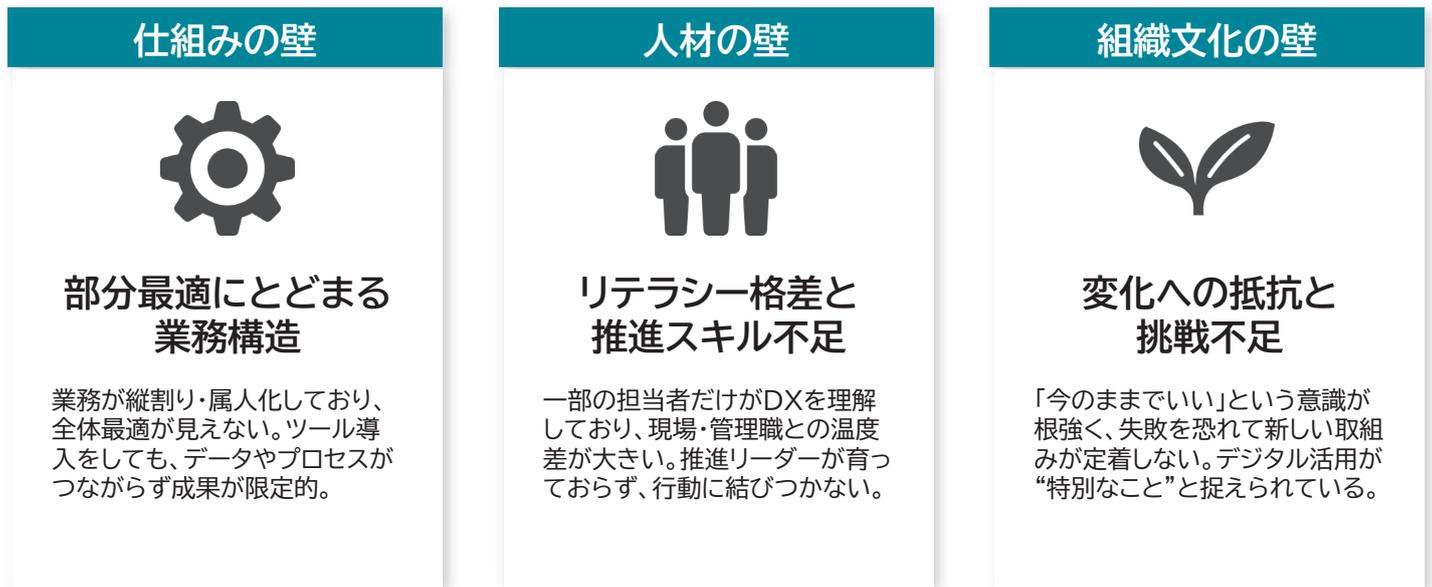
業務で実践し成果を体験する！

生成AI／DX推進の真の課題は生成AIやツールの導入だけでは進みません。

**「人材育成」から変革を進める必要があります！**

# なぜDXは進まないのか — 多くの企業に共通する“構造的な壁”

■ DXが進まない原因は、技術やツールの問題ではなく、**「仕組み」「人材」「組織文化」**という“組織構造そのもの”にあります。



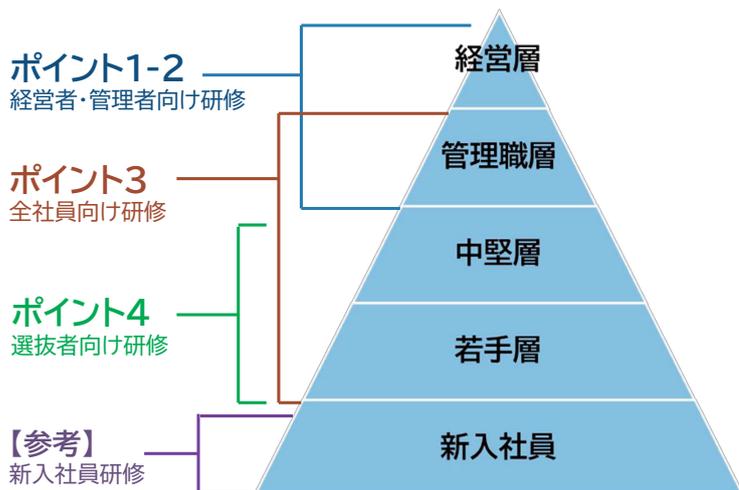
DXを前に進めるためには、これらの「構造的な壁」を同時に乗り越える必要があります。その鍵となるのが——**階層ごとの人材育成と意識改革**です。

## 解決の方向性 — 階層ごとに“役割”と“理解度”を変える

デジタル推進目的 **“技術導入”ではなく、  
“競争優位を生む人と仕組みづくり”**



■ デジタル推進に必要な階層別人材育成



■ 階層別デジタル推進教育プロセス  
～経営層から現場まで一貫支援

- ▼ **ポイント1 経営陣向け教育**
  - ・経営陣のデジタル推進(IT・データ/AI)理解
  - ・デジタル推進を経営戦略に入れ、デジタル重点分野策定
  - ・デジタル推進部・推進委員会設置など体制の構築
- ▼ **ポイント2 現場管理職に向けた教育**
  - ・デジタル推進をするメリットを理解する
  - ・自部門内におけるデジタル活用の企画立案
  - ・プロジェクト推進を理解するためのマインド
- ▼ **ポイント3 全社員向けのデジタル理解教育**
  - ・デジタル推進とは何か?を全社員が理解する
  - ・社内で「デジタル推進」という言葉を共通言語化する
  - ・担当業務レベルでデジタル活用のイメージを持つ
- ▼ **ポイント4 デジタル推進者の選抜及び専門教育**
  - ・各部門からデジタル推進者を選抜、任命する
  - ・デジタルツールを使いこなす、推進人材を育成

## 『デジタルを“使う人材”ではなく、“**変革を起こす人材**”へ』

### デジタル分野の人材育成の課題をワンストップでサポート

#### ■ デジタルスキルだけでなく、ビジネススキルもセットで育成

デジタル推進に必要な思考力やマネジメント力などのビジネススキルも育成して実践力UP

#### ■ 育成計画策定からスキル教育、伴走支援まで一括サポート

デジタル人材育成に関する課題を研修や動画を通じて総合的にご支援

### デジタル人材の3要素



### デジタル人材に必須なマインドセット

#### 1 課題解決力

問題の本質を見極め、仮説を立て情報収集をし、解決すべき課題を設定すること

#### 2 当事者意識

自ら解決したい・取り組みたいという主体性を持ち、自身で動き、考えて解決しようとする

#### 3 好奇心・学習意欲

デジタル技術や自社の事業に対して好奇心を持ち、自ら新しいことを学び、成長を続けること

## 生成AI・DX推進に必要な4つのステップ

■ 生成AI・DX推進を成功に導くためには段階的なステップが必要です。

STEP 01	STEP 02	STEP 03	STEP 04
<b>現状分析</b> 現状を知る	<b>基礎教育</b> 基礎をつくる	<b>スキル習得</b> 人材を育てる	<b>現場活用</b> 成果を出す
全体設計 人材定義	動画教育	マネジメント教育	伴走支援
ロードマップ作成 人材育成計画	研修・セミナー (ツール操作等)	DX推進人材育成	事務局 支援
アセスメント設計	資格取得支援	AI・デジタル活用人材	人事評価との 連動支援

## Topics

■ 組織診断・人材ポートフォリオの作成

■ 社内制作動画の拡充

■ 生成AI/Copilot計画策定・実行

■ 研修運営代行  
(⇒コア業務への集中)

■ 人材育成管理システム導入(LMS)

■ 社内動画のリデザイン

■ 新人・若手向けデジタル教育

■ コミュニケティ形成  
社内ポータルサイト構築

## STEP 01 現状を知る — アセスメントによる可視化

■ 全社員のデジタルリテラシーを可視化し、誰にどんな教育をすべきか明確化します。

社員のスキル・マインドを把握していないため、DX推進担当を任命できない

自社の人的資源を把握できず、戦略的な人事・人材開発計画を組めない

リスクリングを促したいが、誰にどのような教育をすればよいか分からない

アセスメントを実施

AI・DXへの熱意がある社員を選抜し事業戦略に組み込める

各社員の測定結果から育成方針の是非を確認・修正できる

個人レポート結果から、今後学ぶべき内容が明確になる

### 経済産業省「デジタルスキル標準」準拠

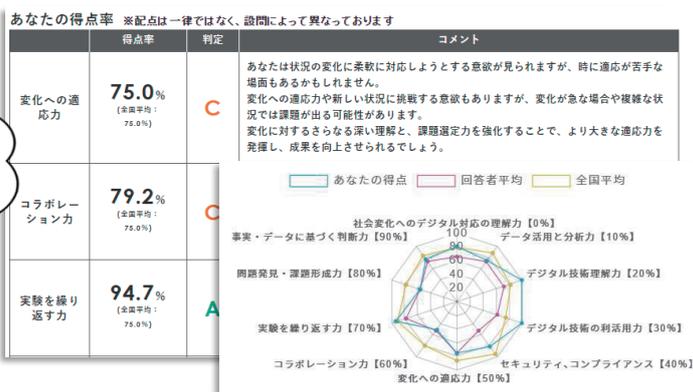
■ DXリテラシーアセスメント 3,300円(税込)/1名

企業内のDXリテラシーを可視化  
採用育成の評価・自律的な学習を促すテスト

4名様まで  
トライアル可

#### 特徴

- ・受検者は全50問、40分程度の試験を受検
- ・全てのビジネスパーソンに求められる「DXリテラシー標準」に準拠し、10区分に対応した試験問題
- ・他社比較・組織比較、階層別・試験別の比較、統計分布などのレポート
- ・個々のアセスメント結果をもとに、おすすめのeラーニングをレコメンド



■ 状況により最適な研修実施形態はさまざま～柔軟に対応可能です

インソースの研修は、大きく分けて3つの受講形態をご用意しています。お客さまのご要望やご状況にあわせた最適な学習が可能です。まずはお気軽にご希望の実施形態、概要をお申しつけください。

	 <b>講師派遣</b> 貴社へ講師を派遣、 ご希望に合わせたカスタマイズ	 <b>公開講座</b> 1名様から参加可能な オープンセミナー	 <b>動画</b> 時間と場所に縛られない 柔軟な教育
特徴 数字は 2025年10月 末時点	<b>■サービス数:4,883種類</b> 貴社に講師を派遣し、希望の日程、内容で 研修を実施する <b>オーダーメイド型研修</b>	<b>■サービス数:4,932種類</b> (※提携先含む) 都合のつく日程、場所(会場・オンライン)で 受けたい講座を、 <b>1名から受講できる</b>	<b>■サービス数:計1,200種類以上</b> いつでもどこでも学習できる動画教材 <b>レンタル・買い切り・見放題プラン有</b>
メリット	・参加者同士で意見交換、議論することで、 考えを深めること、視野を広げることが できる ・不明な点をすぐに質問できる	・上記、講師派遣型集合研修と同様 ・異業種交流ができる  半日研修 …… 1名 18,300円(税込)～ 1日研修 …… 1名 26,400円(税込)～	・都合の良い時に受講ができる ・繰り返し受講ができる  レンタル …… 1名 990円(税込)～ 買い切り …… 198,000円(税込)～
効果がより高い場面	・役割認識など意識やレベル合わる ・まとまった人数がいる場合 ・社内の交流を図る	・受講対象者が少ない場合 (1名からでも受講可能) ・他流試合で刺激になる	・知識の理解をさせたい場合 ・隙間時間で学習させたい場合 ・受講対象が多い場合 (同じ内容で学習が可能)

選べる受講形態② — 集合研修

■ 集合研修の特徴

(1) 現場で使えるスキルの習得

現場でどれだけ実践できるかを主眼に、現場で使えるスキル、コツを習得することができる

⇒受講者の現実との乖離を極力排除する

(2) お客さまのニーズ・要望、受講者の現状、課題によって、テキストをカスタマイズ

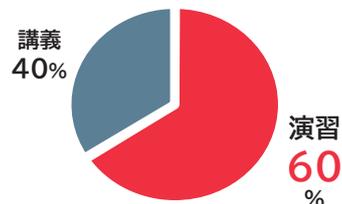
研修担当者、受講者のニーズ・課題、レベルに基づき、**テキストをカスタマイズ**している

⇒経営層や担当者へのヒアリングや受講者への事前アンケートを活用し、お客さまの目的と受講者のレベル・ニーズに合わせた内容とする

(3) 演習重視のカリキュラム

現場での再現性を重視するため、**研修時間の60%を演習**に充てている

⇒グループ討議を多く用い、受講者同士の交流と情報共有を促進する



■ 教育形式の比較

	動画教育	集合研修	伴走支援
目的	基礎知識やスキルの効率的なインプット	参加者の主体的・実践的な学び、協働・創発	現場定着・自走化の実現
特性	場所・時間を問わず基礎知識を効率的に学ぶ手法	参加者主体でディスカッションを通じ実践的に学ぶ形式	専門家が現場に寄り添い、計画から運用まで継続的に支援
進め方	オンライン教材で個別に学習	グループワークやディスカッション、演習中心 ※オンラインでもグループワークがあります	専門家が現場と一緒に計画～運用まで並走
役割	自己学習中心	ファシリテーターが進行補助、参加者主体	支援・共創・メンタリング、現場の自立を重視
デメリット	実務応用や定着が弱い場合も	特になし	専門家リソースやコストが必要

## ■ すべての動画がここに。インソースの動画百貨店とは？

インソースが提供する動画教材・eラーニングの総合サイトです。  
計1,000種類以上の動画コンテンツを取り扱っており、視聴頻度やご予算に応じて納品プランをお選びいただけます。



最先端

毎月15本以上の動画教材をリリース！

多種多様なビジネススキル、人材育成のトレンドを学べる、計1,000種類以上の圧倒的なラインナップ数

革新的

買い切り・レンタル・定額制プラン！

MP4動画データ買い切り、手軽な動画レンタル視聴、サブスク型見放題など、活用方法は自由自在

リーズナブル

低コストで利用しやすい価格！

買い切り198,000円/本～レンタル視聴1,870円/名～。会員登録やポイント購入でさらにお得に！

## 動画データ買い切りプラン

¥198,000～(税込)/本

定期的に同一の教育を受けさせたいお客さま向けのプラン

動画コンテンツを購入いただくプラン。MP4データを納品いたします。  
購入後は、自社のイントラネットやLMSに載せて、従業員に視聴してもらうことが可能。

POINT01

利用回数・人数制限なし・永続的に利用可能

POINT02

お持ちのLMSや社内ネットワークにアップロード可能！

POINT03

簡易カスタマイズ対応可能！（オプション）

## 見放題(サブスク型)プラン

1ID ¥500(税込)/月

仕組として学習管理機能LMSを導入したいお客さま向けプラン

多機能・マルチデバイスLMS「Leaf Lightning」に、インソースが提供する厳選eラーニング教材を格納した状態で提供するサービスです。

POINT01

デジタル+ビジネススキル動画434本視聴可能(DSS動画含む)

POINT02

コンテンツ載せ放題！データ格納容量は無制限

POINT03

同時アクセス人数無制限



## 動画レンタルプラン ※最大4週間視聴可能

¥990～/本

単発の教育をリーズナブルに実施したいお客さま向けのプラン

特定の方に、期間限定で視聴いただくサービス。「安く手軽に動画教育を実施したいが、受講者に配信する仕組みがない」「集合研修を欠席した社員に、動画を見せたい」といったシーンで活用。期間は最大4週間視聴可能。

POINT01

手間なく動画教育の導入が可能。 ※URLを共有するだけ

POINT02

計1,000種類以上のコンテンツから必要な時に必要な分を

POINT03

最短で即日の視聴が可能

## ■ デジタルスキル標準シリーズ

デジタルスキル標準(DSS)準拠の動画約40本をご用意



## ■ 貴社へ講師を派遣、ご希望に合わせたカスタマイズ

組織の課題に即した研修内容へカスタマイズ可能。まさに“かゆいところに手が届く”研修サービス。

## オーダーメイド研修

講師派遣

INSOURCE CUSTOM MADE SEMINAR

年間実施回数 24,654回

うちDX関連 2,226名

※2024年10月～2025年9月

最先端

時代のニーズに即した内容～毎月30本の新作を開発！

スピーディに変化する社会のニーズに合わせ、139名のクリエイターが日々研修を開発中。

課題解決

リアルなお悩みに応える、実践的な「HOW」を提供

「受講者が主役」をコンセプトに研修を設計。翌日からの業務で活かせる研修。

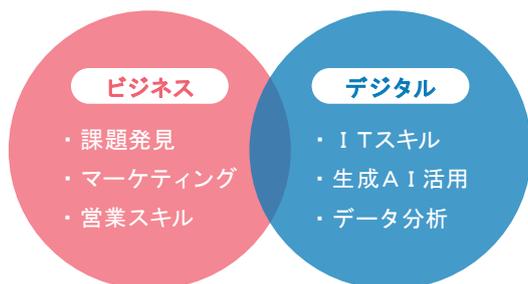
柔軟性

カスタマイズ可能な4,883種類(2025年10月末時点)のラインナップ！

組織の課題に合わせて、細やかなカスタマイズも可能です。まずはお気軽にご相談ください。

## ■ デジタルを活用するためのビジネススキル

デジタル推進のためには、デジタルスキルだけでなくビジネススキルも強化する必要がある。



デジタルスキル・・・「デジタル」を使用するスキル

ビジネススキル・・・「デジタル」を現場で活用するためのスキル

## ■ 個社ごとの課題に対し、体系的なプログラムを設定。

組織のデジタル戦略計画等に合わせて最適なソリューションを設計

## 事例1 デジタルで業務の無駄を減らしたい

対象：中堅～管理職

課題感

自らの業務でのDXのイメージがつかめない

学習内容

生成AI活用、業務フロー改善、PowerAutomate実践

ゴール

AIを使用して定型業務を効率化し、生産性を上げる

## 事例1 DXを引っ張るコア人材を育てたい

対象：若手～中堅 社内選抜者

課題感

全社DXを牽引できるコア人材が足りない

学習内容

課題発見、データ活用、サービスデザイン、プロマネ

ゴール

業務の流れを可視化し、新業務を設計、ベンダーにシステム開発を依頼できる

■ 生成AI /IT研修は1,600種類以上。

<p><b>マネジメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DX理解</li> <li>ビジネストレンド</li> <li>ビジネス課題定義</li> <li>デジタル戦略</li> <li>組織変革</li> <li>業務改革</li> <li>DX推進マネジメント</li> <li>DXビジネス企画</li> <li>DXプロジェクト</li> </ul> <p><b>DX推進担当</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アーキテクト</li> <li>データサイエンティスト</li> <li>ITプランナー</li> <li>ITエンジニア</li> </ul> <p><b>全社員リテラシー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DXリテラシー標準シリーズ</li> <li>業務効率化</li> <li>資格取得研修</li> <li>デジタルツール</li> </ul>	<p><b>アーキテクト</b></p> <table border="1"> <tr> <td>DX理解推進</td> <td>業務の可視化 業務分析</td> <td>システム化企画</td> <td>デザイン思考</td> </tr> <tr> <td>DXアーキテクト</td> <td>データ活用</td> <td>システム要求定義</td> <td>サービスデザイン</td> </tr> <tr> <td>ビジネスアナリティクス (競争優位戦略)</td> <td>AIビジネス活用</td> <td>DX企画立案</td> <td>ビジネスモデル</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">BPR (業務改革-全体最適と課題設定)</td> <td>業務設計とIT (業務効率化と自動化)</td> <td>DXプロジェクト</td> <td>マーケティング</td> </tr> <tr> <td>ビジネスデザイン</td> <td>受け入れテスト</td> <td>事業計画立案</td> </tr> <tr> <td></td> <td>AI・機械学習</td> <td>システム運用設計基礎</td> <td>デジタルツール</td> </tr> </table> <p><b>データサイエンス</b></p> <table border="1"> <tr> <td>データサイエンス</td> <td>回帰分析とクラス分類</td> <td>分析結果の検証</td> <td>Excel</td> </tr> <tr> <td>データ収集</td> <td>クラスタリングと次元削減</td> <td>可視化と報告方法</td> <td>Python</td> </tr> <tr> <td>データ前処理・可視化</td> <td rowspan="2">高度な機械学習と AutoML</td> <td>BIツール</td> <td>データベース (SQL)</td> </tr> <tr> <td>データ分析概論</td> <td>生成AI</td> <td>データエンジニアリング入門</td> </tr> <tr> <td>統計的思考と基礎的推論</td> <td>AIのビジネス活用</td> <td>RAG</td> <td>データエンジニアリング入門</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ハンズオン演習</td> <td>データマネジメント</td> </tr> </table> <p><b>ITプランナー</b></p> <table border="1"> <tr> <td>ITプランナー基礎</td> <td>システム化企画</td> <td>デジタルツール</td> </tr> <tr> <td>開発体験</td> <td>RFIとRFP</td> <td>システムニーズ調査 要求定義</td> </tr> <tr> <td>システム基礎</td> <td>要件定義</td> <td rowspan="2">プロジェクト マネジメント</td> </tr> <tr> <td>業務要件定義</td> <td>品質管理・テスト</td> </tr> </table> <p><b>ITエンジニア</b></p> <table border="1"> <tr> <td>ITアーキテクト</td> <td>データ分析</td> <td>データベース</td> </tr> <tr> <td>システム開発</td> <td>デザイン(UX・UI)</td> <td>セキュリティ</td> </tr> <tr> <td>システム運用保守</td> <td>コンピュータ基礎</td> <td>WEBアプリ</td> </tr> <tr> <td>システム障害対策</td> <td>ネットワーク</td> <td>クラウド・AI・IoT</td> </tr> </table>	DX理解推進	業務の可視化 業務分析	システム化企画	デザイン思考	DXアーキテクト	データ活用	システム要求定義	サービスデザイン	ビジネスアナリティクス (競争優位戦略)	AIビジネス活用	DX企画立案	ビジネスモデル	BPR (業務改革-全体最適と課題設定)	業務設計とIT (業務効率化と自動化)	DXプロジェクト	マーケティング	ビジネスデザイン	受け入れテスト	事業計画立案		AI・機械学習	システム運用設計基礎	デジタルツール	データサイエンス	回帰分析とクラス分類	分析結果の検証	Excel	データ収集	クラスタリングと次元削減	可視化と報告方法	Python	データ前処理・可視化	高度な機械学習と AutoML	BIツール	データベース (SQL)	データ分析概論	生成AI	データエンジニアリング入門	統計的思考と基礎的推論	AIのビジネス活用	RAG	データエンジニアリング入門			ハンズオン演習	データマネジメント	ITプランナー基礎	システム化企画	デジタルツール	開発体験	RFIとRFP	システムニーズ調査 要求定義	システム基礎	要件定義	プロジェクト マネジメント	業務要件定義	品質管理・テスト	ITアーキテクト	データ分析	データベース	システム開発	デザイン(UX・UI)	セキュリティ	システム運用保守	コンピュータ基礎	WEBアプリ	システム障害対策	ネットワーク	クラウド・AI・IoT	<p><b>プロジェクトマネジメント極意シリーズ</b> ベテランプロジェクトマネージャーの経験を詰め込んだ人気研修。委託側・開発側あり。</p> <table border="1"> <tr> <td>プロジェクトマネジメント入門</td> <td>ITガバナンス戦略とマネジメント</td> </tr> <tr> <td>プロジェクトマネジメント基礎</td> <td>評価指標・ビジネス効果試算研修</td> </tr> <tr> <td>プロジェクトマネジメント極意</td> <td>ITリスクマネジメント</td> </tr> <tr> <td>ハイリスクプロジェクト管理</td> <td>データマネジメント</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ステークホルダーマネジメント</td> <td>IT法務</td> </tr> <tr> <td>アジャイル開発</td> </tr> </table> <p><b>DXシリーズ</b></p> <table border="1"> <tr> <td>DXリテラシー標準シリーズ</td> <td>デジタル時代の階層別シリーズ</td> </tr> <tr> <td>DX推進者養成シリーズ</td> <td>データリテラシー醸成シリーズ</td> </tr> <tr> <td>プロジェクト推進者シリーズ</td> <td>コンサルタント養成シリーズ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新人・若手向けデジタル教育シリーズ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">シニア世代のリスキングシリーズ</td> </tr> </table>	プロジェクトマネジメント入門	ITガバナンス戦略とマネジメント	プロジェクトマネジメント基礎	評価指標・ビジネス効果試算研修	プロジェクトマネジメント極意	ITリスクマネジメント	ハイリスクプロジェクト管理	データマネジメント	ステークホルダーマネジメント	IT法務	アジャイル開発	DXリテラシー標準シリーズ	デジタル時代の階層別シリーズ	DX推進者養成シリーズ	データリテラシー醸成シリーズ	プロジェクト推進者シリーズ	コンサルタント養成シリーズ	新人・若手向けデジタル教育シリーズ		シニア世代のリスキングシリーズ	
DX理解推進	業務の可視化 業務分析	システム化企画	デザイン思考																																																																																									
DXアーキテクト	データ活用	システム要求定義	サービスデザイン																																																																																									
ビジネスアナリティクス (競争優位戦略)	AIビジネス活用	DX企画立案	ビジネスモデル																																																																																									
BPR (業務改革-全体最適と課題設定)	業務設計とIT (業務効率化と自動化)	DXプロジェクト	マーケティング																																																																																									
	ビジネスデザイン	受け入れテスト	事業計画立案																																																																																									
	AI・機械学習	システム運用設計基礎	デジタルツール																																																																																									
データサイエンス	回帰分析とクラス分類	分析結果の検証	Excel																																																																																									
データ収集	クラスタリングと次元削減	可視化と報告方法	Python																																																																																									
データ前処理・可視化	高度な機械学習と AutoML	BIツール	データベース (SQL)																																																																																									
データ分析概論		生成AI	データエンジニアリング入門																																																																																									
統計的思考と基礎的推論	AIのビジネス活用	RAG	データエンジニアリング入門																																																																																									
		ハンズオン演習	データマネジメント																																																																																									
ITプランナー基礎	システム化企画	デジタルツール																																																																																										
開発体験	RFIとRFP	システムニーズ調査 要求定義																																																																																										
システム基礎	要件定義	プロジェクト マネジメント																																																																																										
業務要件定義	品質管理・テスト																																																																																											
ITアーキテクト	データ分析	データベース																																																																																										
システム開発	デザイン(UX・UI)	セキュリティ																																																																																										
システム運用保守	コンピュータ基礎	WEBアプリ																																																																																										
システム障害対策	ネットワーク	クラウド・AI・IoT																																																																																										
プロジェクトマネジメント入門	ITガバナンス戦略とマネジメント																																																																																											
プロジェクトマネジメント基礎	評価指標・ビジネス効果試算研修																																																																																											
プロジェクトマネジメント極意	ITリスクマネジメント																																																																																											
ハイリスクプロジェクト管理	データマネジメント																																																																																											
ステークホルダーマネジメント	IT法務																																																																																											
	アジャイル開発																																																																																											
DXリテラシー標準シリーズ	デジタル時代の階層別シリーズ																																																																																											
DX推進者養成シリーズ	データリテラシー醸成シリーズ																																																																																											
プロジェクト推進者シリーズ	コンサルタント養成シリーズ																																																																																											
新人・若手向けデジタル教育シリーズ																																																																																												
シニア世代のリスキングシリーズ																																																																																												

DX理解・推進研修 プログラム

対象者

- ①組織のDXを推進することになったリーダーの方
- ②DXの観点から業務改善を推進したい方

よくあるお悩み・ニーズ

- ・自組織のDXを推進することになったが、何から手をつければよいかわからない
- ・組織のリーダーとしてデジタルを活用した業務提案を進めたい
- ・他組織のDX事例を知ることで、自組織の業務について検討したい

研修内容・特徴

DXの基礎知識に加え、事例や施策立案の考え方を学び、DX人材として活躍するための土台を築きます。他組織の事例を通して社会やビジネスの変化を理解し、自組織での取り組みを整理。さらに、近未来を想像するワークを通じて広い視野を養い、DX推進に必要な思考力を身につけます。

到達目標

- ①DXへの理解を深め、DX人材としての役割を認識する
- ②デジタル時代における社会やビジネスの変化と方向性について把握する
- ③他社事例を参考にしてDX活用についての引き出しを増やす
- ④DXの企画提案におけるプロセスの全体像を理解する

時間	内容	手法
1日間	<p><b>1. DXとは何か</b> (1) 私たちに身近なIT (2) DXを身近なITツールを例に考える 【ワーク】便利だと感じたデジタルサービスやITツールを共有する</p> <p><b>2. デジタル時代における環境変化</b> ■ デジタル時代における環境変化 【ワーク】さまざまな組織のDXを調査し、自組織や事業の展望について考える</p> <p><b>3. 企業がDXを推進する目的</b> ■ デジタルソフトの対象領域 【ワーク】自組織内のDXの取り組みについて整理・共有する</p> <p><b>4. DXの基本ステップとテクノロジーへの理解</b> (1) DXを支えるテクノロジー (2) テクノロジーの活用用途 (3) テクノロジーによる体験価値 (4) ビジネスモデル事例 【ワーク】自組織や他組織で活用しているデジタル技術やデータを共有する 【ワーク】社会環境やテクノロジーが進化した近未来について想像する</p> <p><b>5. 一人ひとりに求められる役割</b> (1) 求められるWHAT思考 (2) DXを進めるうえでの考え方 (3) デジタル活用の課題解決プロセス (4) DX推進者に求められる役割とスキル</p> <p><b>6. DX事例とデジタル施策の考え方</b> (1) DXのテーマを見極める力を高めるには (2) デジタル技術の活用目的と用途の決定が重要 【ワーク】DX事例をもとに、デジタル施策立案の論点を整理する</p> <p><b>7. 自部署のDXの方向性を考える</b> (1) アイデアの発想となる起点 (2) アイデアを生み出すための軸となる考え方 (3) DXの検討フレームワーク</p> <p><b>8. DX人材とDXプロジェクトとは何か</b> (1) DXを主導したプロジェクト事例 (2) DX推進のステップ (3) DXを主導するうえでの失敗要因 【ワーク】DX実現のステップと阻害要因について整理する</p>	講義 ワーク

■ 全研修コンテンツ数は4,932種類。デジタルスキル、ビジネススキルともに幅広く人材育成が可能。

一般人材

IT人材

デジタルスキル				ビジネススキル		ITスキル	
リテラシー		生成AI		Microsoft 365		ITストラテジスト	
ITリテラシー	ツール別	用途別	Excel	その他	リーダーシップ	IT企画人材 (ITコンサルタント)	
AIリテラシー	ChatGPT	文章生成	関数	Word	マネジメント	プロジェクト マネージャー	
データリテラシー	Copilot	Excel操作	ピボットテーブル	Power Point	プロジェクトマネジメント	ITアーキテクト	
DXリテラシー	Gemini	アイデア出し	マクロ	Outlook	変革マネジメント	インフラエンジニア	
情報リテラシー	NotebookLM	画像生成	最適化	Teams	一般スキル	アプリケーション エンジニア	
			Power Query	SharePoint	ロジカルシンキング	運用保守 エンジニア	
データ分析		RPA		デジタルマーケティング		データエンジニア	
Power BI	Power Automate (Desktop)	CX	コンテンツ マーケティング	デザイン思考	問題発見	AIエンジニア	
Tableau	AppSheet Automation	デジタルマーケティング	ディレクション	UX/UI	AsIs-ToBe	年次別研修	
Python	WinActor®	メディアプランニング	クリエイティブ	データ活用	課題設定	新人IT研修	
SQL	UiPath	Webマーケティング	データドリブン マーケティング	企画力	WBS・計画策定	若手IT研修	
Looker Studio		Google Analytics4		プレゼン	要件定義	IT専門研修	
ノーコード・ローコード		プログラミング		その他		1名様から受講可能な公開講座も1000 以上用意	
Power Apps	Pythonによる業 務効率化	PythonによるAI 開発	Google Apps Script	要件定義	業務フロー設計		
kintone	Excel操作自動化	時系列解析	VBA	調整・交渉	要件定義		
Salesforce	スクレイピング	異常検知	Office Script	アジャイル	業務フロー設計		
AppSheet	ブラウザ自動操作	レコメンド		問題解決	プロジェクト推進		
	生成AI活用	最適化		判断力	リスク管理		

業務効率化のためのChatGPT研修(半日研修)

対象者

- ①業務で事務作業を行うことの多い方
- ②企画をはじめ、アイデア出しをすることが多い方
- ③職場で業務の効率化を進めたい方、また推進する立場の方

よくあるお悩み・ニーズ

- ・どのような業務をChatGPTで効率化できるかわからない
- ・ChatGPTで効果的な回答を得る方法を知りたい
- ・業務効率化のためのChatGPTの使い方を実践的に学びたい

研修内容・特徴

このセミナーでは、ChatGPTを業務効率化に活用するための具体的なポイントを学びます。前半で得意・不得意分野を踏まえた業務選定や指示方法を整理し、後半では資料作成や企画立案、Excel業務などを想定した実践ワークを行います。受講後すぐに自分の業務へ応用できる内容です。

到達目標

- ①ChatGPTが得意とする、効率化できる業務を理解する
- ②良い結果を得るための指示の出し方を身につける
- ③ChatGPTを用いて自身の業務の効率化をする

動画

公開講座

講師派遣

時間	内容	手法
半日間	<p><b>1. ChatGPTの得意分野を理解する</b> ChatGPTが得意なこと</p> <p><b>2. ChatGPTで効率化できる業務、できない業務</b> (1) ChatGPTで効率化できる業務 (2) ChatGPTで効率化できない業務 (3) ChatGPTによる業務効率化の事例 【ワーク】効率化したい・効率化できそうな自身の業務を洗い出す</p> <p><b>3. 欲しい回答を引き出す質問の仕方～プロンプトエンジニアリング</b> (1) プロンプトエンジニアリングとは (2) 回答の精度を高める条件提示の仕方 (3) 出力する回答の指定の仕方 (4) 対話を重ねて回答の質を高める</p> <p><b>4. 文章・資料作成を効率化する</b> (1) ChatGPTで効率的に作成できる資料について (2) ChatGPTで資料を作成する際のコツ 【ワーク】ChatGPTでプレゼン資料の初稿を作成する</p> <p><b>5. 企画・アイデア出しを支援してもらう</b> (1) ChatGPTで情報収集をする (2) ChatGPTにアイデア出しのサポートをしてもらう 【ワーク】新規事業のアイデアを、ChatGPTを使って考える</p> <p><b>6. Excel業務を効率化する</b> (1) Excelの作業を言語化するコツ (2) ChatGPTでExcelデータの整形を行う 【ワーク①】ChatGPTにどのようなExcel関数を使えばよいか 【ワーク②】月別の売上データをChatGPTで整形する</p> <p><b>7. 自身の業務を効率化する</b> 【ワーク】2章のワークから業務を1つ選び、ChatGPTで効率化する</p>	講義 ワーク

■ インソースではMicrosoft365・Google Workspaceのいずれにも対応した研修実施が可能。

Microsoft 365	アプリケーション	Google Workspace(GWS)
Copilot (ExcelやWord、PowerPointと連携可能)	生成AI	Gemini (GmAIやGoogleカレンダーと連携可能)
Outlook (メール管理が強力)	メール	GmAI (シンプルで使いやすく検索が得意)
Word (高機能で詳細な文書作成が可能)	文書作成	Google ドキュメント (複数人でのリアルタイム編集が簡単)
Excel (関数やグラフなど高度なデータ分析が得意)	表計算	Google スプレッドシート (クラウド上での共同編集がスムーズ)
PowerPoint (デザイン性の高いスライド作成が可能)	プレゼン資料	Google スライド (簡単にオンラインで共有可能)
Teams (社内外との会議やチャットが可能)	オンライン会議	Google Meet (URL一つで簡単に会議ができる)
Microsoft Forms (簡単にアンケートやテスト作成が可能)	アンケート作成	Google フォーム (直感的な操作でアンケート作成が可能)
OneDrive (社内での共同作業に最適)	ファイル共有・保存	Google ドライブ (クラウド上で簡単に管理・共有できる)
Power Automate (RPA機能で業務を自動化)	業務自動化	AppSheet Automation (RPA機能で業務を自動化)
Power Apps (業務アプリを簡単に作成可能)	データ分析	AppSheet (業務アプリを簡単に作成可能)
Power BI (高度なデータ分析と可視化が可能)	プログラミング	Looker Studio (旧Data Studio、基本的な可視化が可能)
SharePoint Online (ファイル共有や情報管理が可能)	情報共有・業務管理	Googleドライブ (クラウド上で簡単に管理・共有できる)

## STEP 03 人材を育てる② — 公開講座でスキル強化

[現状分析](#)
[基礎教育](#)
[スキル習得](#)
[現場活用](#)

### ■ 1名様から参加可能なオープンセミナー

定番の新人研修から話題のAI・DX研修まで、最新のニーズに対応した研修をご用意

1名様から参加できる

# 公開講座

INSOURCE OPEN SEMINAR

年間受講者数 **159,328**名  
うちDX関連 **21,597**名

※2024年10月～2025年9月

多種多様

講座数は約**4,900**種類(2025年9月末時点)！定番から変わり種まで

ビジネススキル研修から、DX・IT・生成AIの活用スキル研修まで、様々なニーズに対応。

利便性

全国の対面会場とオンラインで毎日開催

講座によっては出張開催、土曜日開催もあるため、忙しい方でもご受講いただきやすくなっています。

即受講可

高い開催頻度。年間開催回数は**15,874**回(2024年10月～2025年9月)と圧倒的

人気の講座は週に2回以上設定。今日もどこかで、インソースの研修が実施されています。

### ■ 人財育成スマートパックでお得に受講

公開講座や動画教材・eラーニング、テキスト教材など、インソースの様々なサービスをお得にご利用いただける、ポイント制割引サービスです。

機能が豊富なかんたんお申込みシステム「WEBinsource」を使って、ポイントを管理しながらご利用いただけます。購入ポイント数に応じ、例えば公開講座なら**最大50%の割引**が適用されるなど、お客さまのメリットが多いサービスです。

かんたんお申込みシステム  
 WEBinsource

ご利用社数 **26,993**社  
※2025年9月末時点

インソースの公開講座や動画教材、研修テキストなど、様々なサービス・商品のお申込み手続きが簡単にできる、**無料の会員さま専用システム**。

インソースが提携している提携先研修も、一括してお申込みいただけます。

通常価格 26,400円

最安 13,000円

最大**50%OFF**

スマートパック

料金プラン	ポイント	販売価格	受講実質価格	値引率
バック 5	500	115,000円	<b>23,000円</b>	<b>12%</b>
バック 10	1,000	220,000円	<b>22,000円</b>	<b>16%</b>
バック 25	2,500	537,500円	<b>21,500円</b>	<b>18%</b>
バック 50	5,000	1,050,000円	<b>21,000円</b>	<b>20%</b>
バック 100	10,000	2,000,000円	<b>20,000円</b>	<b>24%</b>
バック 200	20,000	3,800,000円	<b>19,000円</b>	<b>28%</b>
バック 500	50,000	8,500,000円	<b>17,000円</b>	<b>35%</b>
バック 1000	100,000	15,000,000円	<b>15,000円</b>	<b>43%</b>
バック 2000	200,000	26,000,000円	<b>13,000円</b>	<b>50%</b>

# 提携教育ベンダー約40社

■ 教育ベンダー40社と業務提携。各社の研修コンテンツのご受講も可能。  
 インソースのホームページもしくはWEBinsourceから、提携先企業様の公開講座／動画も申し込みができます。

提携企業 ※敬称略	公開	講師派遣	動画通信	PBL
NECビジネスインテリジェンス	●	●	●	
日立アカデミー	●	●	●	
東芝ビジネスエキスパート		●		
CTCテクノロジー	●	●		
トレノケート	●	●		
アイ・ラーニング	●	●		
エディフィスト・ラーニング	●	●		
インターネット・アカデミー	●	●		
カサレアル	●	●		
キカガク	●	●	●	●
ピープルドット		●	●	
ドワンゴ	●	●		
サイバーコマンド	●	●		

提携企業 ※敬称略	公開	講師派遣	動画通信	PBL
BIPROGY			●	
ユーキャン			●	
KIYOラーニング			●	
GakkenLEAP			●	
オージス総研		●		
TechBowl			●	●
社会システムデザインセンター		●		●
W&Dコンサルティング		●		●
株式会社Queue		●		●
京都大学	●		●	
神戸大学	●			
東京藝術大学	●			

## STEP 04 成果を出す — 学びを実務に活かす伴走支援

現状分析

基礎教育

スキル習得

現場活用

### ■ 学びを実務に活かす

現場での活用には、「見えないハードルや壁」がある。プロのサポートにより、ハードルを越えDX事例創出へ。

#### 課題

基礎教育は学んだが、それが現場での実務に活かされていない。

研修の学びを業務へ還元  
 できるよう伴走支援

### ■ なぜ「伴走支援」が必要なのか？

知識を活かそうとしても、実務では以下のような壁に直面し、研修が単なる学びで終わってしまうこともある。

#### 推進者の の悩み

#### ①課題設定の難しさ

どんな業務課題に取り組むべきかわからない。

#### ②モチベーションの維持

一人での実施が不安で、サポートがないと意欲が低下する。

#### ③リソース・工数の増大

プロジェクト推進に時間とコストがかかりすぎる。

#### ④実行環境の確保

データの取得、環境構築の最初の一步が踏み出せない。

#### 伴走支援で解決

実務経験豊富なコンサルタント、データサイエンティスト、エンジニアといったプロが学習者に寄り添い、プロジェクトの完遂をサポート

■ アクティブユーザー数510万人突破。日本最大級のLMS！

■ 研修運営や事務代行をお任せ！

教育管理用プラットフォーム「Leaf」シリーズ

運営代行サービス

アクティブ  
ユーザー数

**510**  
万人突破

手厚い  
サポートデスク

**永年無料**

利用回数  
データ利用料

**無制限**

同時アクセス数

**無制限**

■ Leaf(リーフ)で教育管理の手間を1/10以下に圧縮

- ◆このシステムだけで運用完結の教育管理プラットフォーム
  - ・eラーニング視聴対象者や研修受講者の登録・受付、実参加確認、履歴管理も簡単
  - ・他社実施の研修管理や他社eラーニングコンテンツも載せ放題

- ◆システムカスタマイズもお任せ  
ログイン画面のUI設計ほか、ご要望に応じて別途改修

研修実施前	研修実施中	研修実施後
研修ページ作成	受講計画表	受講履歴出力
受講者指名	受講者マイページ活用	受講票/修了証発行
申込管理	ウェビナー連携	アンケート展開・回収
事前連絡	出欠管理	

研修運営関連サービス内容 ※一部業務のみの委託も可能です

準備	受講者管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し込みフォーム作成、自動メール返信</li> <li>・受講者の出欠取りまとめ</li> <li>・リマインドメール送信</li> </ul>
研修当日	当日運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>■オンラインの場合 アカウント発行(人数制限有)、機材設営、オペレーター派遣または遠隔対応</li> <li>■対面の場合 受付、資料配布、出欠確認等 ※対応内容は個別に打合せ</li> </ul>
フォロー	事後アンケート配布・回収	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート回答用フォーム作成</li> <li>・受講者へ回答依頼メール一括送付</li> <li>・回答締切前のリマインドメール一括送付</li> </ul>
	報告書作成	アンケート回答結果を集計し、報告書としてご担当者様に提出

研修以外の運営代行サービス内容 ※一部業務のみの委託も可能です

入社前準備	PC・関連機器 セッティング/ サポートデスク 代行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門知識とスキルを持つ担当者が、ご希望の台数、納期、内容で初期設定を実施</li> <li>・部署ごとのマスター作成等、ご要望に応じて柔軟に対応範囲を決定</li> <li>・入社後の操作に関するサポートデスク代行も可能</li> </ul>
-------	-------------------------------------	---

生成AI・DXは“人”が動かす。変革の起点は育成から！

- DXの成功は、テクノロジーではなく“人の変化”から始まります。私たちは「気づき」「学び」「実践」の3段階で、貴社の変革を支援します。

01 | **気づき** 組織の課題を自分ごとにする

DXを「他人ごと」から「自分ごと」に変える意識改革。  
全社員が“なぜDXが必要か”を理解し、共通言語を持つ状態にする。

02 | **学び** 全員がデジタルを“使いこなす力”を得る

リテラシー×スキル×マインドを一体で育成。現場の課題をデジタルで解決できる力を養う。

03 | **実践** 成果を出し、組織文化に定着させる

小さな成功体験を積み上げ、変革が継続する文化を醸成。

■人が変われば、組織も変わる

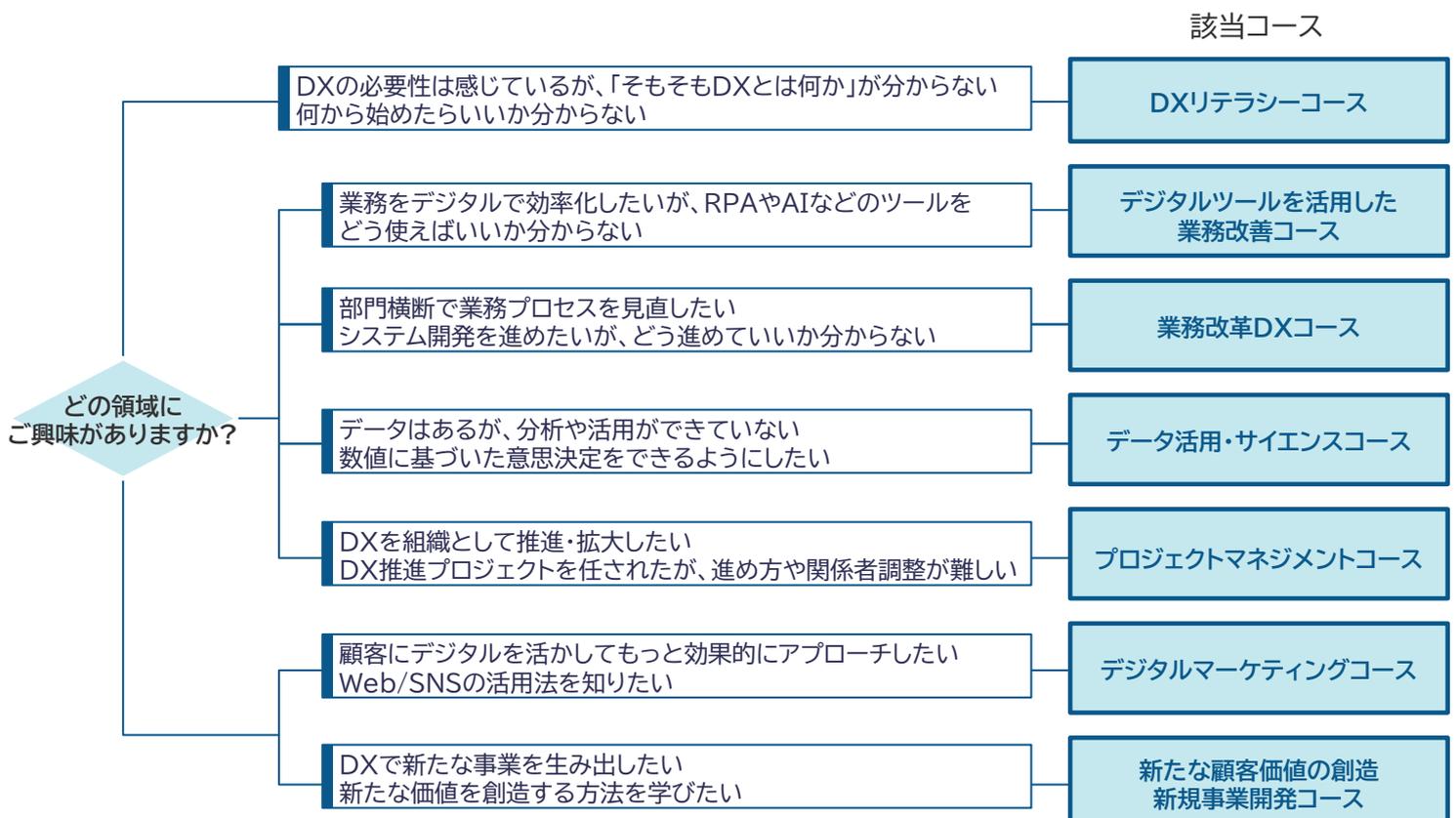
DXの本質は、テクノロジーより“人の変革”にあります。  
私たちはその第一歩を、教育とコンテンツで支えます。

# 課題別生成AI・DXコース

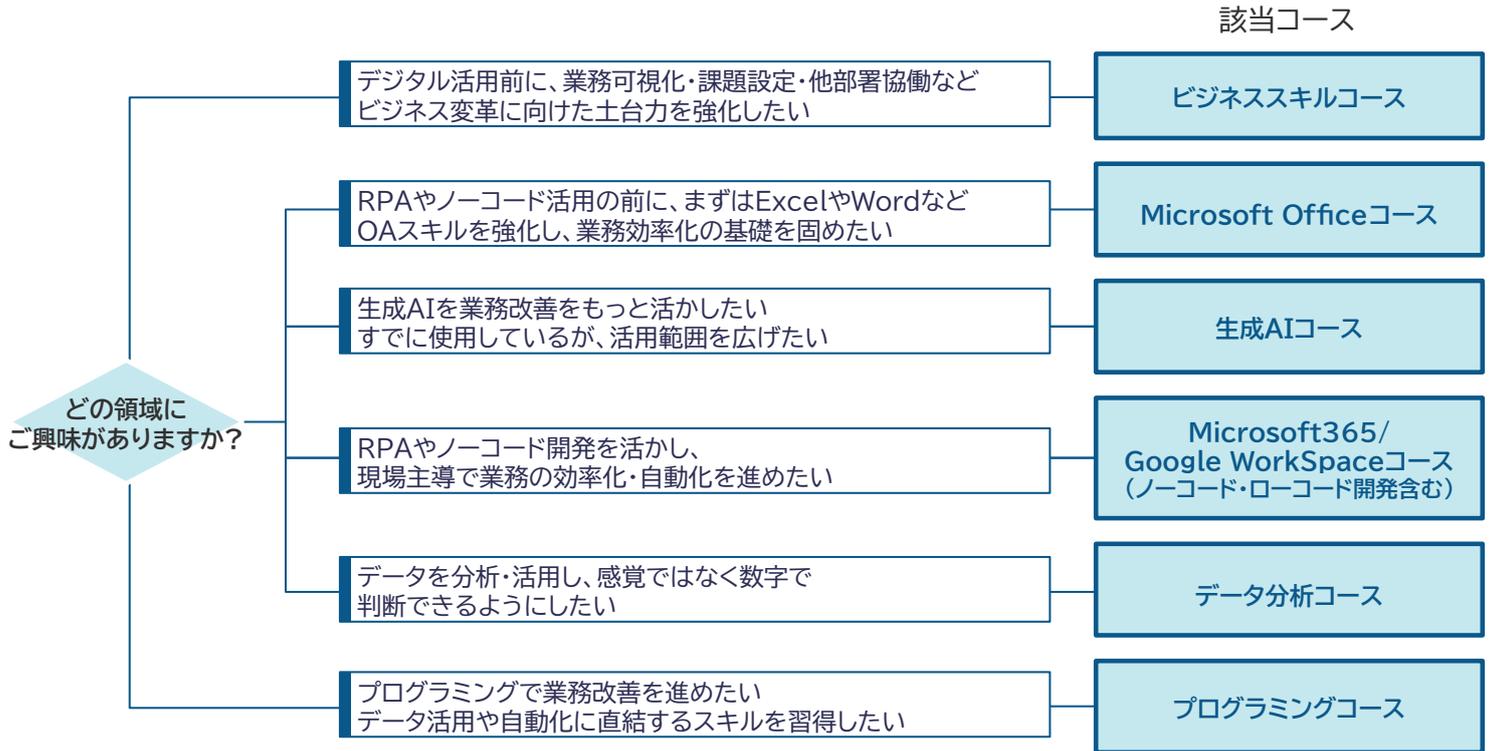
## 課題別生成AI・DXコース

組織編

### ■ 課題別マップ



■ 課題別マップ

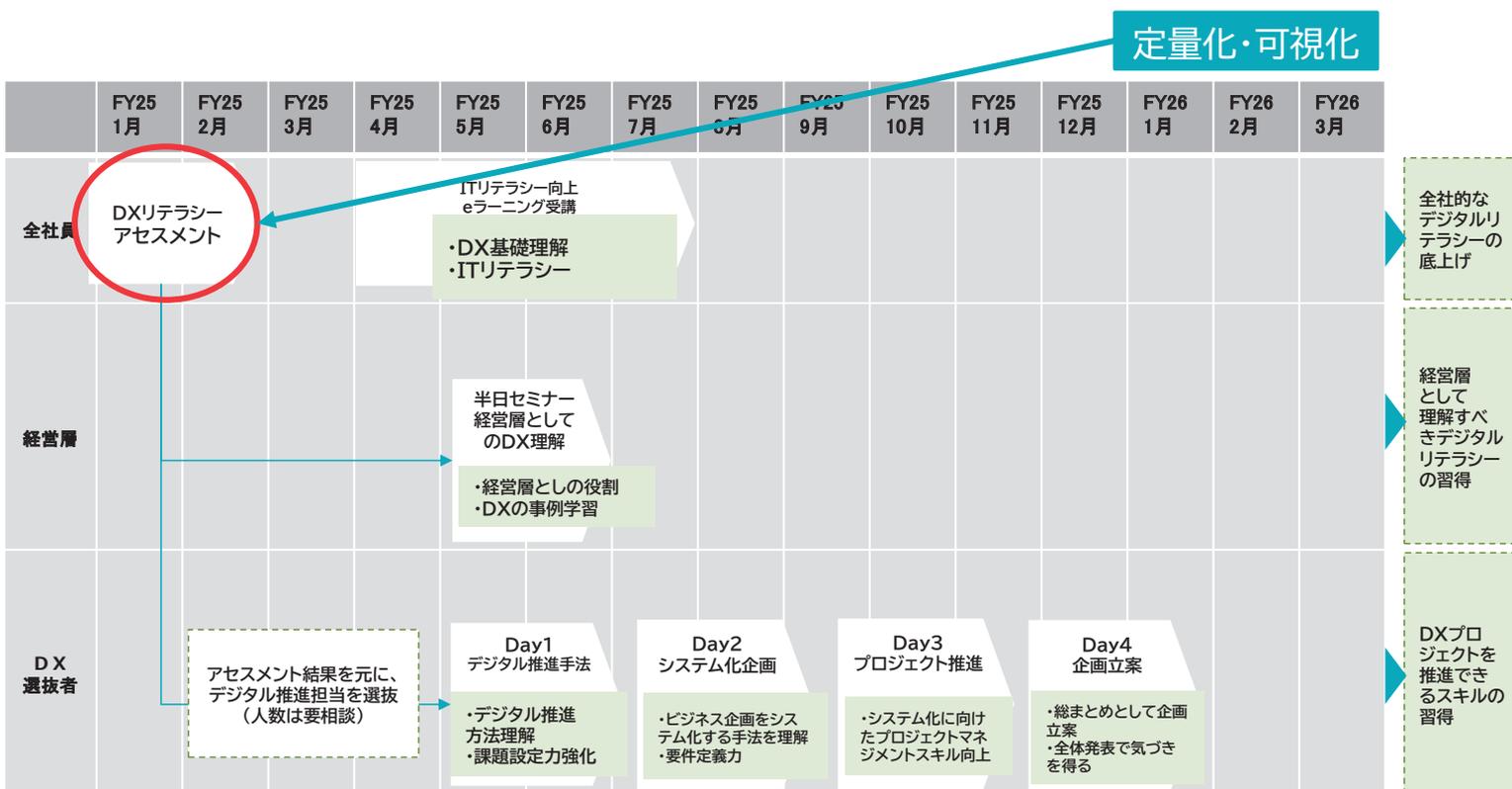


# 業界別生成AI・DX推進支援事例

<b>金融</b> <b>株式会社三菱UFJ銀行</b> 対象 本部管理職約2,200名 概要 ・DXを推進する上で必要なマインドセット ・自業務をテーマとしたDXプロジェクトの企画・推進の実践スキル <b>三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社</b> 対象 各部門からの選抜者約60名 概要 最先端テクノロジーの理解、DXプロジェクト企画、推進、管理などの自洗スキルを習得 <b>みずほ証券株式会社</b> 対象 自薦・推薦から選抜された延べ約100名 概要 業務効率化に向けたプログラミング研修(Excel操作、データ分析など)と実装支援 <b>株式会社横浜銀行</b> 対象 本部企画、IT・デジタル部門の行員 概要 「DXアカデミー」開講。修了試験合格者には「DXライセンス」を社内認定 <b>共栄火災海上保険株式会社</b> 対象 デジタル推進担当者 概要 デジタル推進担当者を対象に延べ10日間の研修プログラムを実施 <b>全保連株式会社</b> 対象 各部門からの選抜者約30名 概要 6か月間にわたる研修を実施、全社従業員の底上げと自律してDX推進を行う人材の養成 <b>MS&amp;ADインターリスク総研株式会社</b> 対象 各部門からの選抜者 延べ約60名 概要 プロジェクトマネージャー、ビジネスデベロッパー育成を通じて、DX推進の意識向上を図る	<b>建築・土木</b> <b>清水建設株式会社</b> 対象 DXコア人材 約120名 概要 DXコア人材育成プログラムとして、DXプロデューサーコース、DXテクニカルプランナーコース、ITテクニカルプランナーコースを実施 <b>前澤工業株式会社</b> 対象 各部門から選抜者約60名、管理職約60名 概要 管理職向けDX研修と推進人材向けDX基礎研修に加え、2024年度は推進人材向けのDX応用研修を実施 <b>化学</b> <b>第一工業製薬株式会社</b> 対象 新入社員/選抜者等約500名(3年間累計) 概要 最先端テクノロジーの習得とPython、データベースなどでのトレーニングを実施 <b>株式会社レゾナック</b> 対象 全グローバル従業員約26,000名 概要 グループ全従業員を対象に3カ国語のeラーニングを提供し、スキルアップを支援 <b>専門商社</b> <b>オザックス株式会社</b> 対象 各部門の管理職 約100名 概要 改善対象業務の選定から行動計画の作成までをゴールとした研修を実施 <b>ユアサ商事株式会社</b> 対象 各部門の管理職 約100名 概要 【2026年3月期計画】IT人材600名、DX人材40名	<b>食品・飲料</b> <b>サッポロホールディングス株式会社</b> 対象 DX・IT推進リーダー 延べ約170名 概要 共通プログラムによる基礎研修の後、DXビジネスデザイナー、DXテクニカルプランナー、ITテクニカルプランナー向け専門研修 <b>運送用機器</b> <b>本田技研工業株式会社</b> 対象 全従業員からの希望者約150名 概要 ■統計学コース インプットと実践:Excelを活用した統計学基礎2日間の研修にて自業務での活用を想定した分析計画書を作成し、その後2週間かけて実際に取り組み、成果を発表 <b>橋梁・エンジニアリング</b> <b>株式会社横河ブリッジホールディングス</b> 対象 各部門から選抜したDX人材候補者約60名 概要 DX基礎コース、DXテクニカルプランナーコースの2コースで実施 <b>エネルギー</b> <b>株式会社りゅうせきフロントライン</b> 対象 グループ各社から選抜の従業員約10名 概要 DXを理解・活用することで業務改善を提案し、DX・IT案件を自律して推進する人材を育成 <b>機械製造</b> <b>ナブテスコ株式会社</b> 対象 公募者(延べ約300名) 概要 DX理解、最先端テクノロジーの習得などデジタル技術を活用したトレーニング	<b>交通</b> <b>富士急行株式会社</b> 対象 全グループ約700名とDX推進人材約300名 概要 全グループ従業員向けベーシック研修と、DX/IT案件の推進人材向けアドバンス研修 <b>九州旅客鉄道株式会社</b> 対象 マネジメント層約400名、および各部門からの希望者 延べ約20名 概要 マネジメント層向けDX研修とビジネスデータ分析研修を実施(研修前後のアセスメント実施を含む) <b>官公庁・自治体・学校法人</b> <b>東京都</b> 対象 都職員 概要 2021年4月より「ICT職専門研修(基礎)」、それに続く「ICT職専門研修(応用)」実施 <b>国立大学法人九州大学</b> 対象 全職員(教員を除く) 約1,200名 概要 DXリテラシーの可視化と強化を目的として、DXリテラシーアセスメントを実施 <b>国立大学法人神戸大学</b> 対象 幹部職員、事務職員など約750名 概要 DXアセスメントの実施、結果に基づいた選抜者向けの研修など、総合的にご支援。 ※プレスリリースを実施させていただいたお客さま
---	--	--	--

## 事例① 建設コンサルタント企業 — アセスメント起点のDX推進プログラム

全社員のDXリテラシーを可視化し、デジタル推進人材を育成するための体系的な取組み。アセスメントで選抜者を特定したうえで、全社員にはDX・ITリテラシー向上のeラーニングを、経営層にはデジタル時代の経営の役割を学ぶセミナーを実施。さらに選抜者には、4日間の集合研修でデジタル推進スキルを習得するプログラム。



## 事例② 建設会社 — 生成AI活用スキル向上プログラム

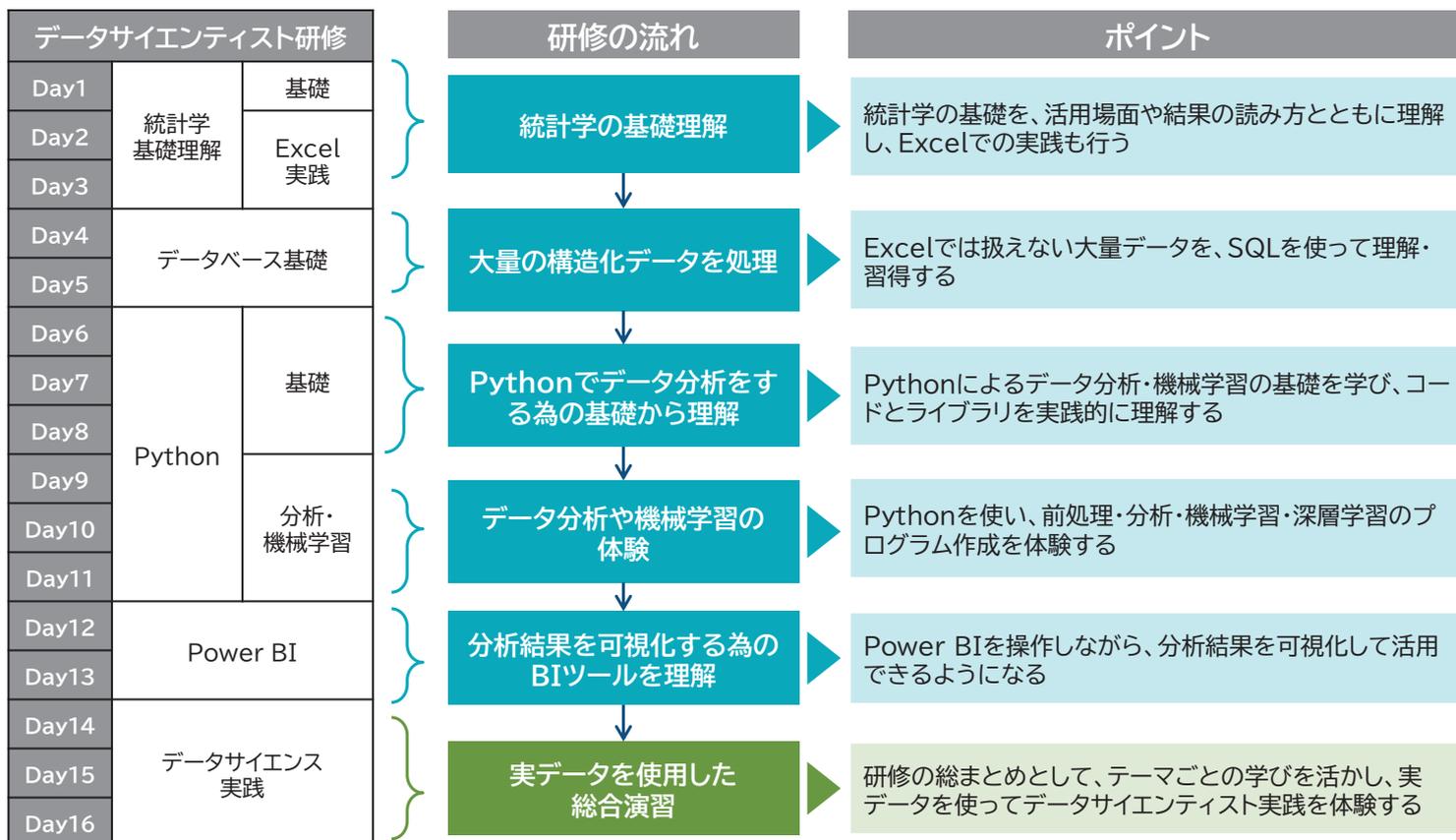
ChatGPTをはじめとする各生成AIの特長を理解し、業務への活用方法を実践的に身につける**7日間の伴走型研修**。動画で基礎を学び、業務効率化に向けた活用企画・実践に取り組み、成果発表会を行う。質問対応サービス付きで、実践を通じて理解と定着を図るプログラム。

テーマ	研修名	日数	ポイント
Step1 生成AI理解	- 【eラーニング】ChatGPT活用講座 ～事例やできることを学び、業務効率化につなげる	-	生成AIの活用事例や基本的なプロンプトテクニックを理解
Step2 生成AI 業務活用	1 生成AI使いわけ研修 ～業務に応じた生成AIの選択方法を学ぶ	3h	各生成AIの特長を理解し、各業務で使い分けできるようになる
	2 生成AI×Excel活用研修 ～Excelを効率運用する	3h	業務で汎用性の高いExcelとの連携を学ぶ
	3 生成AI×データ分析研修 ～データドリブン思考の必勝ツール	3h	生成AIを活用したデータ分析手法を身につけ、データドリブンな思考を身につける
Step3 実業務への応用 ～企画と実行	4 業務効率化のための生成AI研修 ～対象業務選定の重要性を学ぶ	3h	業務を整理し、生成AIで効率化するべき業務を見極める力を養う
	5 ケーススタディで学ぶプロンプト作成実践	3h	ケーススタディで課題を生成AIで解決する体験を行う
	- ワークショップに向けた事前課題 自身、自部署業務の洗い出しと業務フロー作成	2h	自身や部署の業務を整理し、Day6の企画作成を円滑に進める
	6 生成AIによる業務効率化企画ワークショップ	3h	自業務の効率化企画を作成し、発表・講師フィードバックを受ける
	- 実践期間(非同期質問対応可能)	1ヵ月	実践期間中に自業務の効率化に取り組み、QAサービスで随時サポートする
Step4 最終成果発表	7 成果発表会	3h	自部署の業務効率化に向けた実践結果を発表し、成功事例の共有と今後に向けた改善点を発見する

生成AI活用時の  
質問対応サービス(期間中)

## 事例③ 金融・保険会社 — データサイエンティスト育成プログラム

**全16日程にてデータサイエンティストスキルを身につける研修**。以下の各項目(統計学・データベース・Python・BIツール)を習得後、「データサイエンス実践」の演習を通じて総合的に理解を促す。





本セミナーでは、DXの本質と活用事例を細解きながら、DX人材を育成するための具体的なステップをご紹介します。皆さまの組織における変革の第一歩となれば幸いです。

## 対象者

- ・人事担当の皆さま、研修担当者の皆さま
- ・社内のデジタル教育企画に携わる方

## 特におすすめしたい方

- DXを何から始めれば良いかわからない方
- データ分析ができる人材の外部採用が難しく、社内人材をリスキリングしたいと考えている方
- デジタルツールを導入しても、一部の部署や社員しか使っておらず、もったいなさを感じている方 他

### 参加方法

Zoomを使用いたします。参加用URL、パスワードを、開催前日までにメールにてご案内いたします。

詳細・お申込みは  
こちら



## テキストフェアとは

当社が誇る研修テキストを一堂に展示し、実際に手に取って無料でご覧いただけます。様々なテーマや業種に絞ったテキストフェアを定期開催しております。ぜひ、ご興味のある回にお申し込みいただき、受講研修のご検討や自社研修の企画にお役立てください。

## 展示の研修テーマ

- |        |        |
|--------|--------|
| DX推進   | 生成AI活用 |
| DX人材育成 | プロマネ   |
| データ分析  | 課題設定力  |



### 参加方法

当社HPより、ご希望の日程・開催回にお申込みください。

詳細・お申込みは  
こちら

